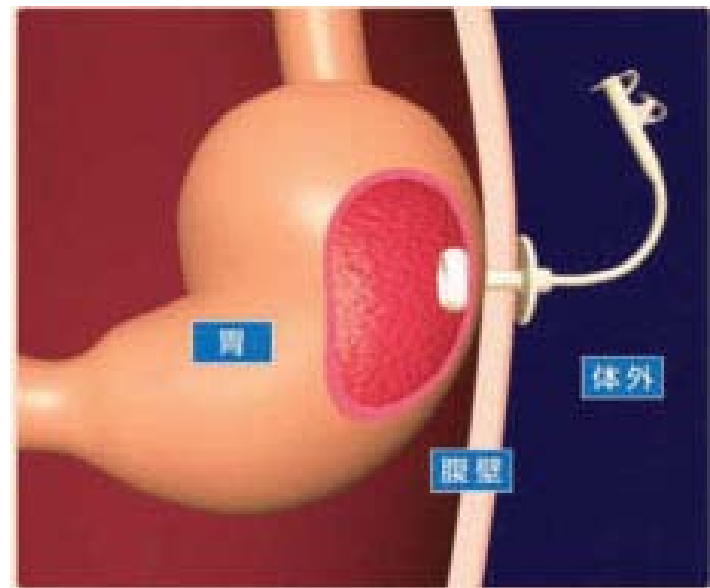


どうして日本では胃ろうがあまり抵抗なく受け入れられているのか？



日本における胃ろう導入は1990年代



現在40万人

なぜ、これほど日本で広まったのか？
文化的背景？

衣

- ×ピアス・刺青－親からもらった体
- 入れ歯・義手義足－異物の装着
- (×)整形



食

- 立ち食い・早食いー必要なエネルギーの摂取
- 健康食品・ダイエット食品・サプリメント
- おかゆ・生魚(ネギトロ)・生肉(ユッケ)ー流動食への抵抗なし?
- ×入れ歯ー食べることに對するこだわり



住

- 在宅一家族とのつながり
- 地下鉄・トンネル一穴を開けるということ
- 5円玉一穴！



死生観

- 命の私物化を否定－仏教・浄土真宗(無我)
- 仏教では「暗い死」－「死」を見ないようにする
- 餓死忌避



医学

- 漢方—不老不死・仙人
- “その人”の生を長らえさせたい—臓器提供者
- 医療者の考え—延命至上主義(見殺しにしたくない)・家族のため・死は敗北である
- 法律—保護責任者遺棄致死罪(刑法210)
- ×倫理
- 経済面—年金制度



死・病気へのタブー視



普段から死について考えない



病気告知しない→病気進行(寝たきり)



延命治療の決定は親族



もしもの時とりあえず生きていてほしい
ギリギリまで生かす

そもそも胃ろうの目的とは何なのだろうか？

→最初は栄養管理で、後に延命となるケースと、
そもそも延命目的の場合がある

「家族にとっての患者の存在価値」とは？

→たとえば、意思疎通不可能でも、そこにいてくれるのが家族の支え

年金がもらえたりする。

本人の意向よりも家族の感情や意向を尊重している。